

本号のテーマ：「チャレンジャー」

○ エストニア共和国とモンゴル国への海外研修

佐久市ふるさと創生人材育成事業中学生海外研修の報告会がありました。

7月の壮行会では不安げな様子も見られましたが、9月の報告会では会場に入った瞬間に研修をやり終えた熱気が伝わってきました。一人ずつの感想発表がありました。



一部ですがご紹介します。

「英語でもっと話をしたい。コミュニケーションをとりたい。英語を話せるようになって、今度は一人でチャレンジしたい。」

「英語を使う仕事がしたいと将来を考えるようになった。」

「挑戦して自分から話しかけた。そのお蔭で、掛け替えのない友達ができた。」

「コミュニケーションをとるのが苦手だったが、チャレンジし仲良しの友達ができた。自分に自信が持てたので、参加してよかった。」

「本当に楽しかった。家族やおじいちゃん、おばあちゃんに感謝したい。」

佐久市の中学生の代表として経験したことを堂々と話す中学生の報告に聞き入ってしまいました。

柳田市長が「考えていることと体験を通したことは違う。」と話されました。「チャレンジャー」何事にも挑戦していくワンステップとなりますように願っています。そして、将来への大きなステップとなりますよう期待しております。

10月下旬にエストニア共和国サク市より8名、11月初旬にモンゴル国ウランバートル市スフバートル区より7名の中学生が佐久市を訪問する交流研修があります。ホームステイの予定もあり、市内の小中学校への訪問もあります。思い出多き交流になることでしょう。

○ 「教育委員会の動きなど」

1 運動会・文化祭

泉小学校では春に開催されましたが、他の市内小学校16校の運動会が去る9月16日に少し天気心配もされましたが無事に実施されました。どの学校からも、家族や地域の皆様の応援する熱気が伝わってきました。「悔いのない一日にしたい。チャレンジしていきます。」力強い児童会長の言葉です。学年の発達に応じての工夫が素晴らしく、子どもたち・先生・会場中が笑顔で包まれた一日となりました。

中学校では文化祭が盛大に開催されました。盛りだくさんの内容で、日頃の学習の成果が伝わってきました。どの学校でも「合唱」にかける思いが強く、クラスや学年の団結する心がみえました。中学3年生「クラスの団結する心を聴いてくださっている皆さんに伝えたい。全力で歌います。」とナレーションが流れました。全力を出しきって歌う姿に涙がこぼれました。会場中が感動の渦に包まれました。ここでも、チャレンジャー精神が見えて、充実した一日となりました。

2 まちじゅう音楽祭 市民交流ひろばにて 9月24日(日)

平成7年に開催されてから22年間続けられてきた音楽祭です。

「♪よいこの住んでる よい町は 楽しい 楽しい 歌の町 ～ ♪」

オープニングで会場中の皆さんと歌いました。この曲は、佐久平駅のからくり時計で9時から午後6時の毎正時に奏でられている4曲のうちの1曲です。幼児から高校生まで9団体の発表があり、それぞれ素晴らしい演奏でした。その合間に、14団体の市民合唱団



のリードで、25曲もの歌が歌われました。

唱歌・童謡・歌謡曲・県歌など幅広く、秋晴れの空に響きました。締めくくりに
「♪夕焼け小焼けで 日が暮れて 山のお寺の 鐘がなる お手々つないで 皆帰ろう カラスと一緒に帰りましょう♪」

声高らかに歌われました。この曲は、夕方5時になると佐久市中に流れる曲です。

会場で指揮をされた先生とお話しする機会がありました。その先生は「小学生の時にこの音楽祭に参加し、その後、音楽の道に進み、今日この音楽祭で指揮者として舞台に立たせていただいた。子どもの時に経験したことが記憶として残っています。」と言われました。この音楽祭の趣旨のひとつ「様々な音楽にふれる事によって豊かな感性が育めるように」の願いのもと、成長した姿を拝見させていただいた様に感じました。

今日この会場で演奏したり歌ったりしたことが、いい思い出として心に残ったことでしょう。これからも佐久市民の皆さんが、歌声や様々な音楽に触れる機会が多いことを願っています。